

岡山市長 様

提案者（団体名）一般社団法人ぐるーん

所在地 岡山市北区島田本町 2-8-8

代表 役職 代表理事

氏名 河本 美津子

協働課 岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課

所在地 岡山市北区大供一丁目 1 番 1 号

代表 役職 課長

氏名 梅垣 浩久

令和 7 年度 市民協働推進事業提案書

岡山市との協働により課題解決を図るため、令和 7 年度岡山市市民協働推進事業を提案します。

提案事業の名称	ホームスタート事業（家庭訪問型子育て支援事業）
提案型 (該当する方に○してください)	行政提案型 NPO提案型
①社会課題の概要 ※詳細については様式第 2 号に記入してください	現在日本では、少子化および核家族化、コロナ以降のリモート化等の影響で、社会で子どもを育てる機能が弱まり、子育て世代が孤立しやすくなっている。産後 1 年以内の妊産婦死亡の 28.6%が自殺によるというデータが報じられているが、それは一度子育てに躓くと、自力での立て直しは難しいことを物語っている。また、子どもへの虐待やネグレクトに移行するケースも多く、児童相談所への通告件数は年々増加している。しかし、親子支援のリソースは慢性的に不足しており、養育困難からの負の影響の再生産が繰り返されている。よって、当団体としては産後一刻も早い支援体制の構築を目指し、「ホームスタート」事業に取り組むこととした。
②定性的効果 定量的効果 ※解決する内容と評価する指標 ※詳細については様式第 2 号に記入してください。	ホームスタートは、子育て支援の「すきま」に届く柔軟なサポートです。定性的効果としては、訪問型支援により親の孤立感を軽減し、心理的安定や育児スキルの向上を実現します。親子関係の改善や地域とのつながりを促進することで、家庭全体の生活の質を向上させます。無料で利用可能なため幅広い家庭に対応でき、支援の継続性や高い満足度も特徴です。また、行政施策では手が届きにくい家庭に支援を提供することで、虐待予防やコスト削減などの社会的効果も期待されています。 定量的なアウトカムとしては、問い合わせ数、訪問件数、支援者（オーガナイザー、ホームビジター）の養成数が挙げられ、訪問した際のアンケートデータも蓄積される仕組みになっています。

③提案事業の内容 ※詳細については様式第2号に記入してください	「ホームスタート」はすでに全国各地で運営が始まっている、住民参加型の訪問型子育て支援を可能にする仕組みである。一般市民による親子支援を仕組み化し、迅速に不足する支援リソースを補うことを目指す。一般市民が参画することで子育ての孤立化を防止し、地域みんなで子育てを支えるまちづくりを進めたいと考えている。				
事業の実施予定期間	令和7年 4月 1日 ~ 令和 8年 3月 31日				
事業予算総額及び 補助金申請額	<table><tr><td>事業予算総額</td><td>2, 500, 000円</td></tr><tr><td>補助金申請額</td><td>2, 000, 000円</td></tr></table>	事業予算総額	2, 500, 000円	補助金申請額	2, 000, 000円
事業予算総額	2, 500, 000円				
補助金申請額	2, 000, 000円				

市民協働推進事業計画書

(1) 実施体制

提案者	代表提案団体	一般社団法人ぐるーん			(担当者名 河本 美津子)	
	岡山市の担当者	担当	地域子育て支援課		電話	086-803-1224
		担当 課名	氏名	焰硝岩 哲郎	職名	係長
			氏名		職名	

(2) 事業の目標・内容 ※以下、数値や指標など用いながら具体的に記載してください。

①社会課題の概要	※事業を評価するための、解決する具体的な内容と指標を記入して下さい 現在日本では、少子化および核家族化、コロナ以降のリモート化等の影響で、社会で子どもを育てる機能が弱まり、子育て世代が孤立しやすくなっている。産後1年以内の妊産婦死亡の28.6%が自殺によるというデータが報じられているが、それは一度子育てに躓くと、自力での立て直しは難しいことを物語っている。また、子どもへの虐待やネグレクトに移行するケースも多く、児童相談所への通告件数は年々増加している。しかし、親子支援のリソースは慢性的に不足しており、養育困難からの負の影響の再生産が繰り返されている。よって、当団体としては産後一刻も早い支援体制の構築を目指し、「ホームスタート」事業に取り組むこととした。 岡山市においては子ども・子育て支援の施策が強化されてきた中で、地域子育て支援拠点事業、乳児家庭全戸訪問事業、養育支援訪問事業、ファミリーサポート事業などが展開されているが、その事業には届かない「すき間」があることも分かっている。例えば、地域子育て支援拠点事業は子育てひろばなどに足を運ぶのが苦手だったり、その余裕がない親は利用できず、乳児家庭全戸訪問事業においては、保健師などが気になる家庭を見つけても、継続して訪問できるほどのマンパワーがない。また、養育支援訪問事業ではリスクが高い家庭を優先せざるをえず、気になる家庭まで手が回らない。ファミリーサポート事業では、親自身を直接支援できず、親自身の家事・育児力が向上しないことがある他、利用料を払えない家庭も多くあり、そういった家庭の方がハイリスクであることが多い。 ホームスタートは、対象となる家庭を限定せず、誰でも無料で気軽に使うことができ、子育てひろばに来ることができない親子などを自宅で支援でき、親の心の安定や家事・育児能力の向上にもつながる特徴がある。 ホームスタートは、専門家ではない一般市民からホームビジターと呼ばれる支援者を養成する仕組みとなっており、不足するマンパワーを市民の力で補っていくというシステムとなっている。ホームビジターを毎年養成することで、制度のすき間を埋める人材を確保していくことがこの事業の狙いである。 できるだけ早期に「ハイリスク予備軍」に訪問支援することで、後々社会的養護に至ってしまわないように予防的アプローチを行うことができると考える。
----------	--

②定性効果と定量的効果

1. 定性効果 (Qualitative Effects)

ホームスタートの支援がもたらす心理的・社会的な影響を以下に挙げます。

• 親の心理的安定:

自宅での訪問支援を通じて、孤立感を和らげ、親が感じる不安やストレスを軽減します。訪問者（ボランティア）が親の話を傾聴することで、精神的なサポートが得られます。

• 育児スキルの向上:

家庭環境に合わせた実践的なアドバイスを通じ、親が家事や育児に対する自信を高めることができます。

• 家族関係の改善:

親の精神的余裕が生まれることで、子どもとの関わりがより良いものになり、家庭内の雰囲気や家族関係が向上します。

• 社会的つながりの促進:

支援を通じて地域のリソースや支援機関との橋渡しが行われ、親が地域社会とのつながりを持つきっかけになります。

• 支援の「すきま」の解消:

行政施策の対象外となる家庭への訪問支援が可能となり、多様な家庭に対応できる柔軟性があります。

2. 定量的効果 (Quantitative Effects)

ホームスタート事業の効果を数値で示す指標は以下の通りです。

• 利用家庭数の増加:

「誰でも無料で利用可能」である特性から、多くの家庭が支援を受けることができ、実績としての利用家庭数が増加します。

• 家庭訪問回数の増加:

訪問型支援のため、保健師や養育支援訪問事業では手が届かない家庭に定期的な訪問が可能です。

• 親の心理的負担軽減:

支援後のアンケート調査等で、親の不安やストレスの軽減率を測定可能です。たとえば、「孤立感が軽減した」と答える割合が高くなる傾向が見られます。

• 子どもの発達支援:

親の心の安定が子どもの行動や発達に良い影響を与えます。数値化はされていないが、支援後に子どもの情緒面等において、良い改善が見られるという報告がされている。

• 支援の継続性:

初回利用後、複数回の訪問を希望する家庭の割合が高いことが示されており、支援の満足度の高さが裏付けられます。また、訪問後には利用者アンケートが義務付けられており、満足度やニーズなどを集計できる仕組みになっています。

• コスト効果:

無料で提供されるサービスが、後のより大規模な支援（例えば児童虐待防止策）へのコストを削減する結果を生むケースも報告されています。

	● 支援者養成数： オーガナイザー、ホームビジターが養成された数＝岡山市の子育て支援のマンパワー増加とみなすことができます。 まとめ ホームスタートは、定性面で「親の孤立感の軽減」「子育ての自信向上」「行政施策の補完」といった重要な役割を果たし、定量面では利用者数の拡大や心理的負担軽減のデータがその効果を示しています。このように、社会全体の支援網をより柔軟かつ包括的なものにする重要な柱として機能しています。
③提案事業の内容 ※箇条書きで簡潔に書いてください	1年目の目標 ・オーガナイザーを2名養成する ・ホームビジターを10名養成する ・周知活動を実施し、利用者を増やす
	(NPO) ・オーガナイザーを2名養成する ・ホームビジターを10名養成する ・周知活動を実施し、利用者を増やす ・広報用ウェブページの作成 ・リーフレットの作成、配布 ・健康づくり課、こども福祉課、子ども総合相談所等への広報協力依頼
	(岡山市) ・利用者およびビジター募集の広報活動：児童館・子育て拠点等へのチラシの配架、おかやまし子育てアプリ、子育てぽけっとの活用など
	2年目の目標 ※1年目で終了する場合、記入の必要はありません ・オーガナイザーを2名養成する ・ホームビジターを10名養成する ・周知活動を実施し、利用者を増やす
	(NPO) ・オーガナイザーを2名養成する ・ホームビジターを10名養成する・ ・周知活動を実施し、利用者を増やす ・メディアへの活動 ・リーフレットの作成、配布
	(岡山市) ・利用者およびビジター募集の広報活動：児童館・子育て拠点等へのチラシの配架、おかやまし子育てアプリ、子育てぽけっとの活用など

(様式第3号)

市民協働推進事業収支予算書

提案事業名	ホームスタート事業（家庭訪問型子育て支援事業）
-------	-------------------------

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体 自己資金	寄付金	500,000
	合同提案 団体負担金等	なし	
自己資金合計（a）		500,000	
その他収入			
その他収入合計（b）		0	
岡山市補助金申請額（c）		2,000,000	
収入合計（d）＝（a）＋（b）＋（c）		2,500,000	

<支出>

費目		金額	内訳
事業実施経費	備品・消耗品費	50,000	プリンター、インク、用紙、文房具
	印刷製本費	150,000	リーフレット等デザイン・印刷費
	人件費	1300,000	オーガナイザー・事務スタッフ給与 ・オ：1,000円×4時間×12日×12か月×2人 ・事：1,000円×1時間×8日/×12か月×2人
	報償費	250,000	オーガナイザー研修受講費・養成研修講師謝金 ・講師（県外）：60,000円×2回 40,000円×1回 ・講師（県内）：15,000円×6人
	旅費・交通費	350,000	ホームビジター、オーガナイザー、講師交通費 ・講師（県外）：40,000円 ・オーガナイザー受講（県外）：50,000円×2人 ・ホームビジター受講：6,000円×10人 ・スタッフ（訪問/通年）：100,000円
	通信運搬費	100,000	オーガナイザー携帯電話×3、WIFI等通信料等
	広告宣伝費	150,000	WEBサイト作成、広告掲載料
	委託料	50,000	顧客管理システムの利用等（1年）
事業実施経費合計（e）		2,400,000円	

管理 運 営 経 費	管理費	100,000	事務所家賃、駐車場利用料（1年）
管理運営経費合計（f）		100,000 円	
総事業費（g）＝（e）＋（f）		2,500,000 円	

（添付書類等）

- ・人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること
- ・参加料などの事業収入を見込む場合は「その他収入見込」欄に計上すること
- ・委託費は補助金交付申請額の3分の1以内に限りです